

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2013-537319(P2013-537319A)

【公表日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2013-528220(P2013-528220)

【国際特許分類】

G 0 2 C 5/12 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 5/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 6】

図 2 は、図 1 に示されている材料固定具 1 0 の上に位置決めされた典型的な眼鏡 3 0 を図解する。眼鏡は、止め具 1 6 C に接して押し上げられており、耳当て部又はつまみ 3 2 は裏板 1 4 の上部 1 8 に載っており、これによってヒトが着用したときに取る大体の位置に眼鏡が設置される。眼鏡は、鼻のブリッジの上を延びる単一の構造体を含んで、着用者の鼻の各側にノーズパッドを設けてもよく、又は各側に個々の別々のノーズパッド構造体を含んでもよいが、それらの配置は、本発明の目的に当てはまると考えられる。各眼鏡を図示されるように位置付けると、それらの構造が同じではない場合も、1 つの眼鏡で測定される特定の角度を、別の眼鏡で測定される対応する角度と比較することができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 7】

図 3、4、及び 5 は、本発明に従って設計された眼鏡 3 0 の関連部分と同様、矢状面 2 0、横断面 2 2 及び前面 2 4 を図解する。明確にするために、試験材料固定具 1 0 は図示されていないが、眼鏡 3 0 があたかも図 2 に示されるように材料固定具上に位置決めされているかのように 3 つの面が例示されている。矢状角 A が図 3 に示されているが、これは、前面 2 4 と平行に広がる、矢状面 2 0 とノーズパッド面 5 0 の間の角度として画定されている。正面角 B が図 4 に示されているが、これは、横断面 2 2 と平行に広がる、矢状面 2 0 とノーズパッド面 5 0 の間の角度として画定されている。前面角 C が図 5 に示されているが、これは、矢状面 2 0 と平行に広がる、前面 2 4 とノーズパッド面 5 0 の間の角度として画定されている。いずれの場合も、測定の目的で、ノーズパッド面は、ノーズパッドの支え面と接する平らな表面であると見なした。上述の角度は、眼鏡が対称であり、説明した角度の半分のみを測定する必要があることが想定されるが、全角度をそのまま測定する（例えば、矢状角 A の場合は、1 つのノーズパッドから反対側のノーズパッドまで測定する）ことも、明らかに本発明の範囲内である。更に、鼻の各側のノーズパッドは対称であることが想定されるが、製造中に典型的に起こる変形が起こる場合がある。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

上記で指定される角度を使用して、本発明者らは、特定の人口に関する固定ノーズブリッジの眼鏡のノーズパッド面の最適な範囲は、以下であると判断した。

矢状角 A：好ましくは 38 度超、より好ましくは 41 度超、最も好ましくは 41 度～43 度。

正面角 B：好ましくは 25 度超、より好ましくは 27 度超、最も好ましくは 27 度～29 度。

前面角 C：好ましくは 12 度～約 16 度、最も好ましくは約 13 度～約 14 度。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトの眼鏡であって、

a) 少なくとも 1 つのレンズを支持するためのフレームと、

b) 前記フレームに取り付けられたノーズブリッジであって、ヒトの鼻の第 1 及び第 2 の側部に接触するように適応した第 1 及び第 2 のノーズパッドを備える、ノーズブリッジと、を備え、

前記フレームを正面から見るときに、前記フレームを左右に分割する第 1 の面と、前記フレームを上下に分割する第 2 の面と、前記第 1 の面および前記第 2 の面の両方に直交する第 3 の面が規定され、前記第 3 の面と平行に広がる、前記第 1 の面とノーズパッド面の間の角度が矢状角 A として規定されており、

前記ノーズパッドが、38 度超の前記矢状角 A で前記フレームに対して固定位置で保持されている、眼鏡。

【請求項 2】

前記矢状角 A が、41 度～43 度である、請求項 1 に記載の眼鏡。

【請求項 3】

前記第 2 の面と平行に広がる、前記第 1 の面と前記ノーズパッド面の間の角度が正面角 B として規定されており、

前記矢状角 A が、41 度超であり、前記ノーズパッドが、25 度超の前記正面角 B でも固定位置で保持されている、請求項 1 に記載の眼鏡。